

広
報

びらとり

2012 (平成 24 年)

4

No.614



二風谷小学校入学式 (4/6)

今月号は...

- 平成 24 年度 町政執行方針
- 平成 24 年度 教育行政執行方針
- 平成 24 年度 予算概要
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

平成24年度

町政執行方針



町長 川上 満

平成24年第2回町議会定例会は、3月5日に招集し、川上町長が町政、斉藤教育長が教育行政のそれぞれ平成24年度執行方針について説明しました。

本紙ではその概要をお知らせしますが、全文は町ホームページに登載していますので、ご覧ください。

私は町長としての重責を担い、3年8カ月が経過いたしました。

この間、町民の皆様からの温かいご支援、議員各位からのご指導をいただいたことに心より感謝を申し上げます。

就任以来「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」を目標として最大の努力を重ねてきたところです。

主要な施策の推進については、平取町総合計画を基本とし、事業の展開を図ります。

資源をいかし、生産の喜びと活力に充ちたまちづくり

農業振興対策 トマトは、6年連続して生産量1万トンを超え、販売額についても過去最高となる41億円を突破したことは名実ともに「びらとりトマト」が全国ブランドとなったものであり、関係者の努力に対して敬意を表するところであります。



びらとりトマト 記念祝賀会

担い手育成対策は、新規参入者が現在まで14戸就農し、地域農業活性化に大きく貢献しています。不足している農業研修生住宅を、振内地区に新築整備するよう計画しています。

林業振興対策 新たに策定された森林整備計画に基づき積極的に森林整備対策を実施します。

商工業振興対策 アイヌの伝統工芸を活用した、地域ブランド化に向けた取り組みを実施し、木彫りやアイヌ文様の刺繍、織布等の伝統工芸を地域資源として捉え直し、特産品として開発します。

また、地元工芸家とともに伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく工芸品の指定をめざします。

観光振興対策 びらとり温泉及び二風谷ファミリールアンドは、築34年を経過し、全面リニューアル及び宿泊施設の整備を含めた事業費を総合計画に計上し、総合計画審議会

での協議、町議会への説明を経て、平取町老人福祉センター改築事業検討委員会において慎重に審議をいただき、温泉施設と宿泊施設を含めた建設の協議結果をいただいたところです。事業実施にあたりましては、町民の皆様からいただいた意見、提案等を真摯に受け止め、町民に心から喜んでもらえる温泉施設の整備を行います。



びらとり温泉

雇用対策 本年度においても町有林造成事業等に係る作業員の雇用について予算措置を図り、雇用促進に努めます。

自然と共生し、
快適で安全な暮らしづくり

道路・交通機関の整備 町道整備では、荷負本村線、貫気別アブシ線、荷菜酪進線、荷菜福満線の改良事業、新たに本町市街中央線及び振内市街線の改良事業並びに荷負坂線歩道整備事業について実施します。

情報通信の整備促進 光ファイバーによる高速通信網が整備されたため、インターネットを活用した福祉、医療及び教育などの公共分野での有効活用が図れるよう積極的に検討します。

防災・消防・救急救助体制 東日本大震災を教訓に、災害に強いまちづくりをしなければならぬと痛感しているところです。

防災意識の啓発に取り組み、地域防災力向上をめざします。
環境保全及び環境衛生 エゾシカ等による農林業被害にについては、平取町鳥獣被害防止対策協議会を設立し、協議されており、3力年計画で町内約450kmに及ぶ侵入防止柵の整備を実施します。

住宅・住宅環境 本町上団地1棟2戸の建設と振内新団地における整備を行い、居住環境の改善に努め、移住定住対策については、「地域おこし協力隊」事業を継続し、短期間滞在していただく、「ちよつと暮らし」事業を本格的に実施します。



地域おこし協力隊（PC教室）

沙流川総合開発事業に係る水源地域の推進 平取ダム建設事業が一時凍結となる事態が続いていることは、誠に遺憾であり、一日も早く凍結解除となることを切望するところであります。流域住民の生命と財産を守るためのダム建設事業の継続と早期完成を、今後とも力強く訴えます。

生涯を通じ生きがいと
元気にあふれるまちづくり

健康づくりの推進・医療機関の充実 住民一人ひとりが健康意識を持ち、自立した日常生活がおくれるよう、第5期高齢者福祉計画・介護保険計画を策定しました。

国民健康保険病院の運営については、常勤医師4名体制を目指し、院外処方への移行については、医師体制が整い病院本来の住民サービスの提供が可能となった時点で実施できるよう準備を進めます。

子育て支援対策 「安心して子どもを産み育てたくなるやさしい町づくり」を推進するため、すこやか赤ちゃん誕生祝金、乳幼児医療費助成、小・中学校生の医療費無料化を引き続き実施します。

子宮頸がん及び小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンについても、全額公費負担での接種とし、子育て支援事業に遺漏のないよう配慮します。
アイヌ福祉対策 平取町アイヌ文化振興基本計画を指針として、アイヌ文化の継承を目指します。

歴史風土や文化を愛する
心豊かな人づくり

伝統文化の保存伝承と文化遺産の保存・保護 イオル再整備事業で整備したコタンの再現空間、イオルの森及び水辺空間を、伝承活動の基盤として、保存伝承活動が展開されます。



イオル再生事業子セノミ

人と人とのつながりを大切にし、
魅力的で個性あふれる
まちづくり

町民自治活動・まちづくり運動の推進 町民税1%まちづくり事業は、3年が経過しましたが、各団体においてユ

ニークな事業が計画実施され、共に創るまちづくりに相応しいものとなっています。引き続きアイデアを重ねた事業が申請されることを期待しています。

行財政改革の推進及び財政の健全化 平取町独自の施策展開やこれらの行政課題に対応できる自治体を構築するため行財政改革大綱に基づき、行財政改革に努めます。

また、財政健全化法に基づく健全化判断4指標に配慮しながら、持続可能な財政の構築に努めます。

以上、平成24年度の町政執行にあたり、所信を申し上げたところであります。

地方自治体を取りまく環境は、非常に厳しい時代ではありますが、職員が一丸となつて効率的な財政運営と効果的な住民サービスを維持し、町民の福祉の向上と、私たちの「ふるさと平取」発展のため、私は町民の先頭に立つて力の限りを尽くす所存であります。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。町政執行方針といたします。

平成24年度教育行政執行方針



教育長 齊藤 憲章

現在、教育基本法並びに教育三法の改正による教育改革が進められ、前年度より小学校が、そして平成24年度より中学校で、新学習指導要領に基づく、教育活動が実施されます。各分野における今日的課題は、教育基本法に基づく、町教育推進計画を策定し、その計画の重点施策について申し上げます。

生きる力を育む

学校教育の推進

学校教育については、全国学力・学習状況調査への全小・中学校の参加と標準学力検査の実施について奨励し、「学校改善プラン」に基づく、基礎的な知識及び技能を徹底して身に付けるための、授業の展開に努めてまいります。

地域に信頼される学校運営の推進

学校・地域・家庭が一体となつて、児童生徒を育むために家庭のみならず、教育活動内容につ

いて、地域への発信等を積極的に進めるとともに、保護者や学校評議員からの意見を学校運営に反映させてまいります。

学校教育環境の充実

児童生徒の安全・安心と質の高い教育効果を確保するために、高等教育をめざす町民への奨学金貸付制度を継続してまいります。

学校施設の充実については、児童生徒が機能的な学習環境で学べるよう整備充実に努めてまいります。

芸術・文化の向上

芸術文化の向上については、町民が多くの優れた芸術や文化に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう、広域的な文化交流を推進し、芸術文化活動の成果発表機会の充実を図ってまいります。



昨年発足した平取中学校「吹奏楽同好会」

健康・体力づくりの

魅力ある社会体育の推進

生活習慣の変化に伴い精神的なストレスなど、健康への関心が高まっております。このことから年齢に応じたスポーツに

文化財保護と活用の推進

有形・無形文化財については、

先人の残した貴重な文化遺産を保護するとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」や北海道



活躍は全国大会でも

親しむ機会の提供を進めます。また、近年、児童生徒が各種競技大会において優秀な成績を収めております。このことから、体育協会やスポーツ少年団等と連携のもとに、より一層の競技スポーツの選手育成及び体制の強化を図ってまいります。

埋蔵文化財の保護と活用の推進

埋蔵文化財については、町の貴重な財産であることを広く周知し、引き続き各種事業や広報誌などを通じ、文化財保護の普及啓発に努めてまいります。

教育委員会は、「平取町の歴史風土や文化を愛し豊かな心の育成を図る生涯学習社会の実現をめざして」を基本理念とする、平成24年度からの平取町教育推進計画並びに平成24年度教育行政執行方針の確実な実行に向けて、全力で取り組んでまいります。

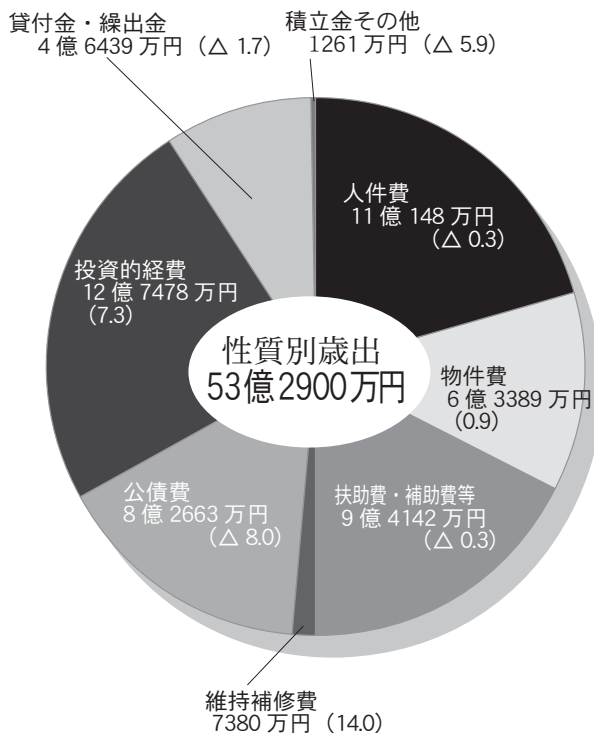
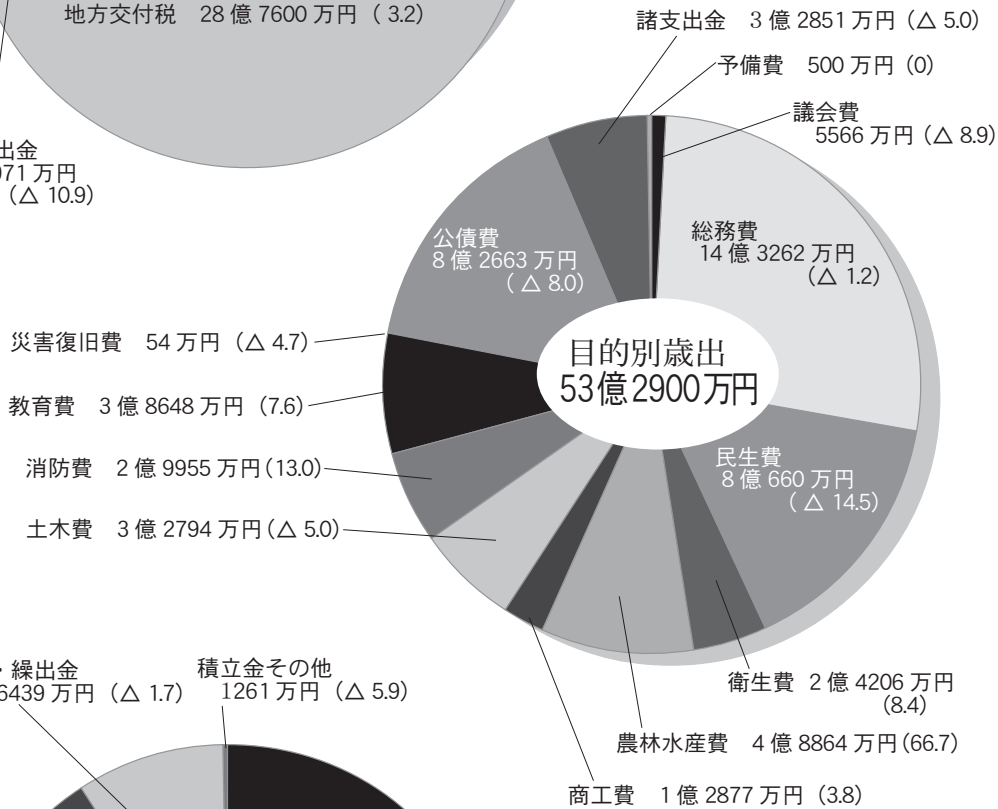
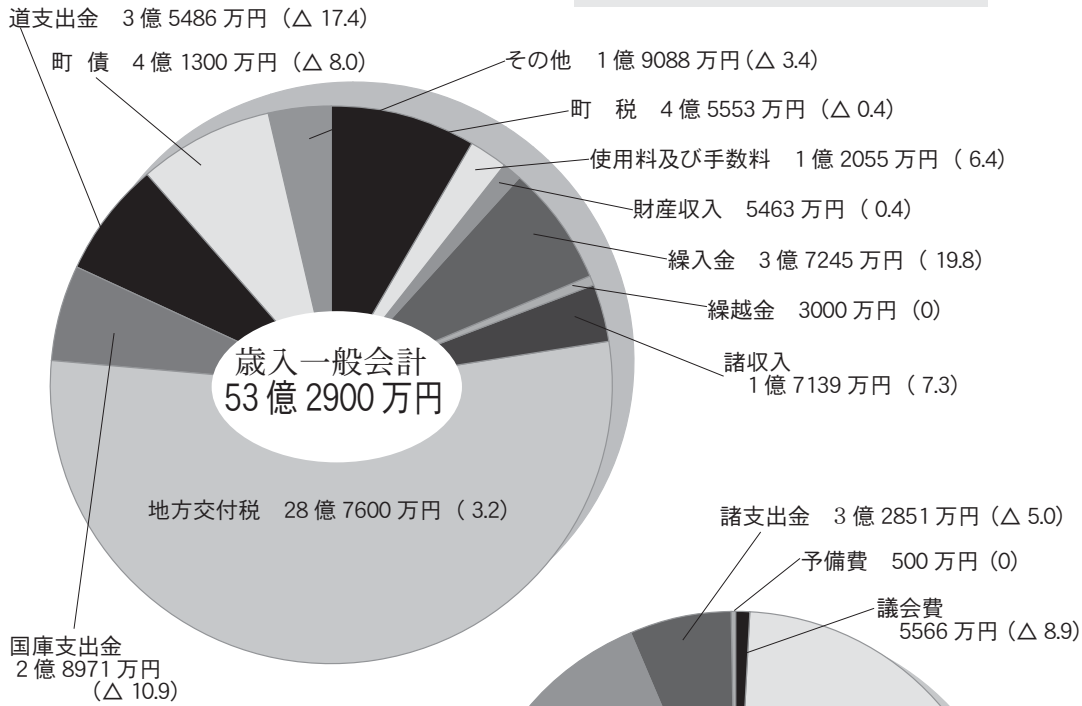
町民の皆様におかれましては、当町の教育行政の推進に、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成24年度 予算概要

平成24年度の町予算が議決されました。総合計画実施計画・収支計画を基本として編成した各会計予算は、一般会計が総額53億2900万円（前年度比10.3%の増）、特別会計は総額23億5075万円（前年度比4.1%の増）となっています。

本誌では一般会計についてお知らせします。

【（ ）内は23年度比 単位 %】



別途、主要事業内容などを記載した予算概要書(簡易版)を戸別配布します。

基金(貯金) 残高の見込み		
	24年度末	町民一人当たり
一般会計	19億8080万円	35万8千円
特別会計	1億935万円	2万円
合計	20億9015万円	37万8千円
町債(借金) 残高の見込み		
	24年度末	町民一人当たり
一般会計	57億8352万円	104万6千円
特別会計	11億9552万円	21万6千円
合計	69億7904万円	126万2千円

※町民一人当たりの額は、平成24年3月末現在人口5,528人で算出しています。

受賞おめでとうございます

税をテーマとしたポスター (3/7・13)

「第 26 回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」で、平取中学校 1 年の高橋柚名さんが日高振興局長賞を、そして旧貫気別中学校 2 年の川上絢也さんが日高教育局長賞を受賞しました。

3 月 7 日に旧貫気別中学校で、13 日に平取中学校で、日高振興局地域政策部の河合寿司 税務課長より賞状等の伝達があり、受賞した川上さんに感想を聞いたところ、「受賞を聞いて驚いた。貫気別中学校最後にこういう賞をもらってうれしかった」と答えてくれました。



平取中学校
高橋柚名さん



旧貫気別中学校
川上絢也さん



松澤さんの第三子のお子さん「愛来ちゃん」

ご出産おめでとうございます

仁世宇 松澤雅彦さん (3/29)

町で実施している「すこやか赤ちゃん誕生祝金」が、この度、仁世宇の松澤雅彦さんに贈られました。

この事業は、主に第三子以上の出産者に祝金が贈られる平取町の特色ある事業の 1 つになっています。

町長室を訪れた松澤さんは「子供のために大切に使いたい」と話してくれました。

地域交流の場に…

いわちしパソコンくらぶ (4/4)

岩知志自治会では、今年 1 月から毎週水曜日に高齢者向けのパソコン教室を、岩知志ふれあい館で開いています。

地域おこし協力隊の 3 名をはじめ、地域の若者や経験者が講師になり、参加者は年賀状作成など、思い思いの目標を持ちながらパソコンに触れています。

参加者も延べ 30 名を越え、毎週にぎやかな教室となっているようです。

川上憲司自治会長は「電源の入切からはじまった教室だが、少しずつやれることも増えてきた。また、地元の若者と高齢者が助け合いながら交流できている良い環境なので、大切にしたい」と話している。



パソコン教室の様子

鈴の音で交通安全!!

商工会女性部 (4/9)

真新しいランドセルと登校の嬉しさ、緊張を背負った
新入学児童 32 名が、各小学校に入学しました。

今年も交通事故にあわないようにと、商工会女性部の
皆さんが手づくりした「交通安全愛の鈴」が、プレゼン
トされました。

この日、平取小学校入学式に併せて、黄色い毛糸で編
まれた愛の鈴が、新入学児童一人ひとりのランドセルに
取り付けられました。



皮膚科外来が開設されました

平取町国民健康保険病院

国保病院に 4 月より、かねてから要望のあった皮膚
科が開設されました。担当されるのは、手稲溪仁会病
院の西坂尚大医師で、毎月第 2、第 4 火曜日に来町さ
れ、受診できるようになりました。

西坂先生は、「都市部でも、地方でも同様の医療が提
供できればと考えています。手術も機材の許す限り行
い、患者さんの手助けをしていきたい」と今後の抱負
を笑顔で話されていました。



町民課住民年金係
兼ふれあいセンター
びらとり管理係
りな
貝澤 李奈



産業課林務係
じゅんえい
澤井 順英



生涯学習課
社会体育係
だいち
沼田 大地



国民健康保険病院
庶務医事係
おさむ
仲野 修



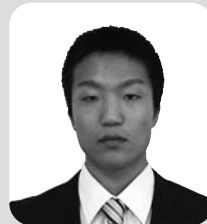
保健福祉課
保健推進係
えいこ
山田 栄子



税務課課税係
ちなつ
西野 千夏



出納室出納係
しょうこ
千葉 修子



まちづくり課
企画係
たかき
小林 崇紀

新採用職員紹介

4 月 1 日付けで新
採用となった職員 8
名を紹介します。

一日も早く職場環
境に慣れ、町民の皆
さんのお役に立てる
よう頑張りますので、
よろしくお願いします。

教育委員会からのお知らせ

～町内小・中学校に着任した教職員に辞令交付～

4月4日、平成24年度の教職員辞令交付式が行われ、新たに平取町に赴任された先生や改めて本年度任用された先生方に本間教育委員長から辞令書が手渡されました。

学習指導要領全面実施等の様々な教育課題の中で、子どもの教育に直接携わる教職員として、地域社会の一員として、児童生徒や保護者・住民の多様な期待に応えてご活躍いただけることと思います。



【前列左から】松井伸樹校長（平取小）、小野善弘校長（貫気別小）、千葉竜美校長（二風谷小）、久保田慎吾校長（平取中）、平石崇広教頭（振内小）、深松一宏教頭（振内中）

【後列左から】伊藤孝三校長（紫雲古津小）、前田嘉宣教諭（平取小）、田中隆行教諭（振内小）、寺内淳一教諭（振内小）、石居年光教諭（平取小）



【前列左から】田中名緒子養護教諭（平取中）、堀毛陽子教諭（振内小）、奥村紗希教諭（平取小）、狭間ゆみ教諭（平取小）、佐藤由実教諭（平取小）、水澤智恵子教諭（貫気別小）

【後列左から】川瀬善光教諭（紫雲古津小）、工藤崇教諭（平取中）、松原陽祐事務職員（平取中）、中島秀敏教諭（振内小）〔紫雲古津小・二風谷小巡回指導教員〕

「むねをはっていこう」の気持ちで送り出せるように

～新学年開始期 自立した子どもを育む家庭の役割とは～

各学校では校舎に子どもたちの明るい声が響き、元気よく新学年が始まったところです。

小学校に入学すると本格的に集団生活が始まることから、規則正しい生活や授業規律、集団生活のルールを守るなどの学校生活における基本的な生活習慣を身に付けることが大切な課題となります。

気持ちよく一日を送ることができるように、「睡眠は十分とれたかな?」「朝ご飯はしっかり食べたかな?」「おはよう」「こんにちは」「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」等のあいさつはどうか?」「持ち物の準備はできている?忘れ物はないかな?」「交通安全ルールは守れているかな?」「友達と仲良くやっているかな?」「授業を楽しく受けているかな?」等について家庭でも子どもと一緒に話し合うなど日常生活を振り返り、自らの生活を見直す取組を充実させることが必要です。子どもは励まされながら、自分の生活をよりよくしようとする気持ちを高めることができます。

同時に、子どもたちが将来生活していく実社会のことを考えると、学校は「楽しい居場所」であるとともに、身体全体で学ぶことで、たくましさを身につけさせることを意図的に行う「鍛える場所」(「歯を食いしばってがんばるところ」)であることも必要です。

小学生低・中学年は、乳幼児期の延長線上にありますが、家庭においてはそうしたことに配慮しながらも、やらなければならない勉強や仕事ができるようになるために、「しつけ」をきちんと行うべき時期になります。「親が何でも肩代わりをしない」「子どもに自分の失敗の責任をとらせる」「解決方法を自分で考えさせる」といった方向へのギア・チェンジを進めながら、自分で考えさせるトレーニングを根気強く積み上げていくことです。単純に突き放してしまうのではなく、しっかりできたこと、がんばれたことの記録等を通して自分で確かめられるようにして励ましていくうちに、子どもの内側に、失敗してもくじけず困難を克服しようとする“勇氣”を育むことが可能になります。



新しいクラスになって張り切る二風谷小学校3・4年生
(杉本学級)のみなさん

"新生"平取中学校へのスクールバス運行開始

新年度を迎え、貫気別中学校と平取中学校が統合し、新たな平取中学校がスタートしました。

4月6日の始業式から、今までよりも30分早くバスに乗っての通学となった貫気別地区2・3年生、翌日の入学式の場面では新入生を迎える歓迎の言葉や合唱もしっかりこなし、上級生の一員としての姿を見せていました。

子どもたちの心に寂しさや不安感が残っているでしょうし、新たな課題が生じることもあるでしょうが、スクールバス“新生平取中学校号”に乗って交友関係が広がり、明るく活発な雰囲気の中で互いに競い合うなど、教育活動の充実が図られるよう、関係するそれぞれがスクールバスのパーツとして協力しながら役割を果たし、子どもたちの希望と成長を支える道を走っていきける努力を続けなくてはなりません。



教育委員会からのお知らせ

平成 24 年度社会教育関係事業予定

家庭教育関係

○家庭教育学級の開設

町PTA連合会により、児童・生徒の保護者を対象に家庭教育に関する学習機会の提供。(随時)

○子育て講座

就学前の乳幼児をもつ親子を対象に、家庭教育の向上や情報交換の場の提供。

(随時/年4回程度開催)

○親子体験学習

親子で力を合わせ、物づくりに挑戦し作り上げる喜びを実感する。(随時)



青少年教育関係

○わくわく自然体験スクール

小学5年生を対象として、夏休み期間中に2泊3日の日程で、宿泊による体験学習を通して、仲間の大切さや自然とのふれあいを実感する。

(夏休み期間中)



○キッズチャレンジ THE あぐり

小学生を対象に、食物の生産過程を学習し、食の大切さを理解する。(通年)

○子ども公民館講座

興味のあることや生活文化の講座を開催。

(随時)

○通学合宿

小学4年～6年生を対象に、2泊3日の日程で共同生活の中から生活の基本を習得する。

(9月～10月)

○放課後子ども教室

町内2か所(貫気別・二風谷)で実施し、安心・安全な会場で、地域の中で健やかに育まれる環境づくりと学習習慣の定着を目的に開催。

(通年)



※ 各事業について、まちだより等でご案内しますので、積極的なご参加をお待ちしています。

成人教育関係

○成人文化講座・女性教養講座

趣味や芸術文化等について講座開催し見聞を広める。(随時)

○英会話講座

英会話の基礎と異国文化の理解を広める。

(冬期に開催)

○すずらん短歌会

毎月、講師による添削指導実施(通年)



文化活動関係

○感動体験ツアー

町外で開催される国内、国外で活躍中のアーティストによるコンサートや、美術品などの鑑賞機会の提供。(随時)

○町民芸術劇場(新規)

地元で開催することにより、多くの町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供。(未定)

自治振興会が新入学児童に「防犯ブザー」をプレゼント！



福澤会長から鈴木振内小学校長へ贈呈

町自治振興会(福澤一光会長)では、このたび教育委員会と各小学校を通じて、町内の新入学児童に「防犯ブザー」を贈呈しました。防犯ブザーは、ランドセル対応のベルトが付いていてピンを引けば音が鳴るものです。

同会は、平成17年度から毎年入学式に合わせて贈呈を行っており、「学校・家庭・地域で、事件の未然防止と子どもの安全確保に役立ててください」と話しています。

古い生活用具に学ぶ

～博物館のアイヌ生活用具コレクション～

町立二風谷アイヌ文化博物館に収蔵・展示してあるアイヌ民具の一部は、「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション」として重要有形民俗文化財に指定されています。指定物件 1,121 点の内、919 点は二風谷アイヌ文化博物館、212 点は萱野茂二風谷アイヌ資料館が所有しており、沙流川流域のアイヌ文化を学ぶための標識的な資料として広く活用されているところです。

多くの資料に残されたモノの来歴は、一品ごとに付けられた戸籍のようなものです。いつ、どこで、どうやって、誰に使われたかといった情報は、アイヌ文化の地域性を理解する上でとりわけ重要視されます。

指定資料の多くは昭和 30 ～ 40 年代を中心に収集されており、沙流川流域およびその可能性のあるものが 92% を占めています。昭和期の収集年代であるものの、具体的な情報を伴った生活用具のまとまりとしては、国内随一のアイヌ生活用具コレクションといえます。

中でもシントコ（ほかい：食べ物などを入れて持ち運ぶための容器）、パッチ（鉢）、トゥキ（杯）など道外産の漆製品については、生産地を知るための調査の結果、東北、北陸、関西といった広域にわたる中で会津、輪島、京都、紀州が多いという傾向が判明しました。年代が分かる資料の中では、近世（江戸）が最も多く、中には中世相当（江戸以前）と推定されるものも分かっています。

かつての生活では、漆製品などの貴重品がチセ内のイヨイキリ（宝壇）に置かれ、大切に扱われていました。イコロ（宝物）として大事にされる道具類の中には世代を超えて受け継がれるものもあります。その結果、数百年前の交易品がたびたび良い状態で残されたりもするのです。



プタウンパッチ（蓋付き漆鉢）
江戸中～後期の京都産と推定



アサマリイタンキ（底高漆碗）
江戸以前の南部産と推定

資料の収集年代とモノ本来の制作年代、そして個々に残る多様な来歴は、地域の近・現代史を学ぶための貴重な学習素材でもあります。博物館では、常設展でなるべく指定民具を展示する一方、ホームページでもデータ化した資料の一部を公開しています。

価値ある文化財の保護は、多くの人を引き付ける地域振興の素材にもなります。平取地域イオル再生事業、アイヌ伝統工芸の振興などと相乗効果をもたせながら、今後更なる普及に努めていきたいと考えています。

重要有形民俗文化財（国指定：アイヌ文化関連 平成 24 年 4 月現在）

1. アイヌのまるきぶね
（昭和 32 年指定：北海道大学北方生物園フィールド科学センター植物園所蔵）
2. アイヌの生活用具コレクション（昭和 34 年指定：函館市北方民族資料館所蔵）
3. 北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション（平成 14 年指定：平取町）

目指せ!!はつらつ健康 すこやかだより

－保健福祉課－

高齢者虐待の防止を考える町民の集い

3月18日(日)、ふれあいセンターびらとりにおいて、「高齢者虐待の防止を考える町民の集い」(平取町高齢者虐待防止止ネットワーク会議・平取町主催)が開催され、約60人の町民の方が参加されました。講師に、北星学園大学の大内高雄先生をお招きし、ご講演いただきました。

大内先生は、虐待について「力関係がある中で強い者から弱い者に対する暴力である」とし、虐待とは決して特別なことではなく、環境等の要因により誰にでも起こりうることであることを説明されました。

さらに、高齢者虐待の起きやすい要因として、被介護者が認知症であること、介護者と地域との関係が希薄であることなどをあげられ、高齢者虐待を防止するためには、介護者を地域の中で孤立させないよう、例えば同じ境遇や悩みを持つた介護者同士の集まりをつくり、悩みや情報を共有するといった活動が重要であると話されました。

講演後、5グループに分かれて、来場者同士が講演の感想などを話し合いました。グループごとの発表では「高齢者虐待の防止についての理解を深めることができた」、「介護サービスを上手に使うなど、介護を1人で抱え込まないことが大切と感じた」などの発言があり、高齢者虐待の防止について認識を深めることができました。

とがあれば、まずは市町村に通報してほしい」とアドバイスをいただきました。平取町の高齢者虐待の相談窓口は、地域包括支援センター(保健福祉課介護支援係)となります。高齢者虐待に限らず、介護に関することなど、様々な相談を受付しています。どうぞお気軽にご相談ください。

☆問合せ先

平取町地域包括

支援センター ぽほえみ

(保健福祉課 介護支援係)

☆電話 2・3700



◇高齢者虐待とは？

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」では、高齢者(65歳以上の人)に対する、家族などの養護者、または養介護施設従事者などによる次のような行為を高齢者虐待と定義しています。

【身体的虐待】

- ・ 殴る、つねる、蹴る、無理矢理食事を口に入れる、やけど、打撲させる
- ・ ベッドに縛り付けたり、意図的に薬を過剰に服用させ身体拘束、抑制をする…など

【介護や世話の放棄】

- ・ 水分や食事を十分与えられず、空腹状態が長時間続き、脱水症状や栄養失調状態にある
- ・ 室内がゴミだらけなど劣悪な環境で生活させる
- ・ 入浴させず異臭がしたり、髪が伸び放題、皮膚が汚れている…など

【心理的虐待】

- ・ 怒鳴る、ののしる、悪口を言う
- ・ 話しかけているのに意図的に無視をする…など

【性的虐待】

- ・ 排泄の失敗に対する罰として、下半身を裸にして放置する
- ・ わいせつな行為をしたり、強要する…など

【経済的虐待】

- ・ 生活費を渡さない、使わせない
- ・ 自宅等を本人に無断で売る
- ・ 年金や貯金を本人の意思や利益に反して使用する…など

図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『氷山の南』／池澤夏樹

『一年四組の窓から』／あさのあつこ

『トマト・ケチャップ・ス』／東直子

『母の遺産 新聞小説』／水村美苗

『三匹のおっさん ふたたび』

／有川浩

『ナミヤ雑貨店の奇蹟』／東野圭吾

『鼠、剣を磨く』／赤川次郎

『炎上 警視庁情報分析支援

第二室(裏店)』／遠藤武文

『破戒者たち』／高杉良

『星に願いを、月に祈りを』

／中村航

『“あの日のそのあと”風雲録』

／林真理子



【家庭・生活・趣味】

『ほめられる盛りつけのルール』

／吉田瑞子

『10年着るための衣類ケアブック』

／石川理恵

『北欧テイストのエコたわし』／主婦と生活社



【社会・経済・その他】

『命をつないだ道』

東北・国道45号線をゆく』／稲泉連

『闘う市長 被災地から見た

この国の真実』／桜井勝延

『ユニセフの現場から』／和氣邦夫

～としょかんトピックス～

□東日本大震災から1年が経過したことに合わせ、3月6日から18日まで、「震災を忘れない」と題して関連資料の展示会を行いました。北海道立図書館からも本や雑誌を借り受け、充実した展示内容になりました。

□同じく3月6日から、保存期限切れの雑誌の無償提供を25日まで行いました。例年同様たくさんの雑誌をお持ち帰りいただき、ありがとうございました。

□図書館では、不用になった本のご寄贈を受付けています。(ビデオ・DVD・CDなどは、現在のところお断りしております。また汚破損のひどい本については、受付をお断りする場合があります。) 寄贈していただいた本は、登録するもののほかは、利用者の方々に無償でご提供しています。図書館入口に、お持ち帰り用の本を並べていますので、ご自由におもちください。カウンターへのお申込みは不要です。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程【5月】

※巡回時間が変わりました。ご注意ください。

8日（火）【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前

11:30～12:00 貫気別生活館

13:15～13:45 芽生生活改善センター

14:00～14:30 旭生活館

9日（水）【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館

13:15～13:45 岩知志ふれあい館

14:15～14:45 豊糠生活改善センター

※利用者カードなしでも、ご利用できます。

※本の返却、不用になった本のご寄贈も受け付けます。

5月の休館日

3・4・5・7・14・21・28日

6月の休館日

4・11・18・25日





■町民交通安全の日（4月13日 本町地区）

すずらん短歌会詠草

粉雪のしんしんと積もる厨辺に

うす味に煮込む大根おでん

市橋 恵美子

通院の我が目に入る山山は

雪を抱きてちと春を待つ

中沢 三子

学園祭の「スカート・チョッキ」はゴミ袋

フォークダンスは笑いの中に

相田 のぶ子

外は北風家は常夏北国の

良き風習を有り難く思えり

高橋 洋子

はらはらと鉛色の空より雪がくる

万事浄化するが如くに

石川原多満代

町の人口	人口	5,528	(▲ 70)
	男	2,665	(▲ 31)
	女	2,863	(▲ 39)
	世帯数	2,563	(▲ 32)
	外国人登録数	132	

()内は前月比 3月末現在